



第 1608 回 (10 月 30 日) 例会報告

- * 点 鐘 矢澤大和会長
- * ロータリーソング 奉仕の理想
- * 4つのテスト
- * 会長報告 矢澤大和会長
- * 幹事報告 新井啓介幹事
- * 出席状況報告 渡辺昭孝委員長
- * ニコニコボックス 半田太委員長

* 卓話

埼玉県立さきたま史跡の博物館

学芸主幹 井上 尚明様

- * 点鐘 矢澤大和会長

会長報告



会長 矢澤 大和

今日は、先ほどご紹介いたしました、埼玉県立さきたま史跡の博物館の井上様から卓話を頂くわけですが、「さきたま」には個人的ではありますが、皆さんと違った思い入れがあります。会長報告ではロータリーのことを話さないと言われているが、今日はご容赦を頂きまして、ちょっと個人的な話をさせていただきます。

時は1984年ですからやがて四半世紀を経ようとしていますが、当時私がある団体に属していました。

代表は、「はにわの里をつくろう」「まちづくりは、さきたまから」と唱えるSさんでした。いろいろ議論をし大枠の「はにわの里構想」つくりました。

まず手はじめは、さきたまに、いつでも、誰でも、楽しくはにわ土器を作れる施設を建設しよう。という事になり、その運動提唱手段として、沢山の人にはにわや土器を作る体験をしてもらおうとその年に、今の火祭りの会場近くにテントを張り、確か200から300人くらいの参加を頂きまして、「はにわやきものづくり IN さきたま」を開催いたしました。翌年その団体のリーダーがAさんに代わり「はにわやきものづくり IN さきたま」その規模をもっと大きくして開催でき、埼玉県、行田市に「はにわの里」建設要望書提出いたしました。当時我々の運動を理解していただきバックアップをしていただいたのが、市の職員のNさんでした。それらの運動が実り、現在のさきたま史跡の博物館近くに埼玉県がレストハウスの建設、平成元年にレストハウスに隣接し行田市に「はにわの館」を建設していただき、現在に至っています。このレストハウスは、はにわづくりの大勢の団体の時に利用させていただいています。以来、正確数字では有りませんが、8万人位の方に利用を頂いています。私もこの運動に四半世紀かかわってまいりましたし、これからもかかわって行くつもりです。

先ほど申し上げましたSさんは、体調不良で退会されました坂巻敏夫さん、市職員のNさん、これも体調不良で退会された永沼督一郎さん、Aさんは、ここに居られる元気イッパイの新井幹事です。

本年度当クラブでは、さきたま古墳群を世界遺産へ登録運動のお手伝いとして、奥の山古墳の発掘調査の発表見学会の時のパンフレットを提供させていただきました。

ニコニコボックス

す。現在、埼玉県と行田市が世界文化遺産候補として文化庁へ共同提案をしたばかりです。世界遺産への登録は、決して容易くはないと思います。今日の井上様の卓話を聞いてさきたま古墳群への理解を深め、会員一丸となつての登録推進運動に協力をお願いいたします。

幹事報告



幹事 新井 啓介

1. 本日の例会は、社会奉仕委員会の担当です。さきたま史跡の博物館井上尚明様にご来訪頂きました。卓話よろしくお願ひ致します。
 2. 来月11月は、ロータリー財団月間です。6日は、11時より第6回理事会が開催されます。理事会関係者の皆様には、時間厳守でご出席下さいますお願ひ致します。
 3. 11月の例会は、4回です。第1例会6日は、梅沢前R財団委員長の卓話です。第2例会13日は、健康増進委員会の担当例会です。市内島田クリニックの島田先生の卓話を予定しています。第3例会20日は、行田三クラブ合同例会で、我がクラブの担当です。アトラクションに田中利幸会員と、ものづくり大学軽音楽部の皆様が準備をしておりますのでお楽しみに！第4例会27日は、国際奉仕委員会の担当でワインセミナーを行います。
- 7月よりスタート致しました矢澤年度も、お蔭様で4ヶ月が経過致しました。
来月以降も引き続きご協力よろしくお願ひいたします。
- 以上

出席報告

渡辺 昭孝委員長

会員数	出席対象者	出席	メーキャップ	出席率
41名	40名	23名	1名	60.0%

- 矢澤会長 井上様、お忙しい所ありがとうございます。ありがとうございました。
- 新井幹事 埼玉県立史跡の博物館、学芸主幹 井上様、本日は卓話宜しくお願ひします。
- 小澤（誠） 1時に来客のため早退させていただきます。清水 井上先生、本日は卓話有難うございます。先般の俳句の吟行の一句
「佛性の 消えし古墳の 秋気澄む」
- 松岡 本日の卓話、埼玉古墳群と世界遺産、井上先生楽しく拝聴いたします。宜しくお願ひします。
「秋思かな 歴史を忍ぶ 古墳群」
- 古田 「秋古墳 世界遺産に 道遠し」
戸ヶ崎 先日行田アリーナに行ったとき、半田さんのお子様の習字が中央小の代表で展示されていまして。大変力強く書かれていまして。
- 横川 先日の行田セレモニー会館のリニューアルオープン祭が盛大に成功裏に終了しました。有難うございました。
- 川辺 井上様卓話有難うございます。世界遺産登録に向けての関心高まることを願っています。宜しくお願ひします。
- 高根沢 10/28 台風一過晴天の中で、池袋にて娘の結婚式を行いました。当家にもむこ（婿）を迎えることになりました。よろしく。
- 橋本 桜の葉も散り始めジュウビタキなどの冬鳥も姿を見せました。
- 田中（利） 本日10/30日は私の本当のバースデーです。満51歳になりました。いい年にしてまいります。
- 斉藤 井上先生ご来訪有難うございます。卓話楽しみにしています。
- 同文 細井 田邊 高根沢 渡辺 田島 倉持 阿部
- 半田 先日行田アリーナに行ったとき、戸ヶ崎さんのお孫さんの絵が小学校の代表で展示されていまして。ひときわ目立って上手でした。



社会奉仕委員会
田島博夫委員長

今日は、さきたま史跡の博物館より学芸主幹の井上様にお越しいただきました。お歳は、54歳。桶川市在住で、4人家族です。先週末に中国のトルファンから帰国されました。現地の博物館の展示指導に行かれたそうです。



さきたま史跡の博物館 井上尚明様

埼玉古墳群と世界遺産

1 史跡埼玉古墳群の調査と整備の経過

昭和13年に国の史跡に指定された当初は、墳丘を中心にした点としての指定で、合計の面積も45,839㎡であった。平成元年の追加指定によって面的な指定となり、指定面積は222,745.2㎡となった。昭和42年に、全国で2番目の風土記の丘建設事業が始まり、44年にはさきたま資料館が開館している。また、古墳公園は、平成9年には都市計画決定区域が97haと拡大され、現在では26.5haが供用されている。これまで、二子山古墳・瓦塚古墳などの調査と整備が実施されてきたが、部分的な調査と環境整備が中心である。將軍山古墳と稲荷山古墳の2古墳については、主体部の調査と整備

を行っている。

指定地内には前方後円墳8、円墳1の計9基の大型古墳と、墳丘は現存しないが梅塚古墳・天王山古墳などの小円墳跡が存在する。また、指定地外にも浅間塚古墳や戸場口山古墳などがあり、全体では40基以上の古墳があったと想定されている。しかし、大型古墳を中心とした古墳群であるため、多くの古墳が指定地外にまで及んでおり、未買収地などが存在することから、周堀を含めて全体が整備できた古墳はない。

2 これからの調査と整備

これまでの調査と整備は、失われた墳丘の復原や崩落の危険が迫っている古墳の整備が主体であったが、古墳群全体の保存と整備をさらに進めるため、平成18年度に「史跡埼玉古墳群保存整備基本計画」を策定した。今年度からこの計画に基づいて調査と整備を開始する。

埼玉県では40年近くに亘って史跡と公園の用地買収や整備を進めているが、まだ多くの課題も残っている。基本計画は、これらの課題を整理し解決するための第1歩である。指定から70年・風土記の丘建設から40年を目前にした今、埼玉古墳群を取り巻く環境は大きく変化しつつあるが、基本とするところは恒久的な保存と歴史的事実に基づいた整備である。

3 世界遺産の現状と埼玉古墳群

現在(2007年)世界遺産は、851件が登録されており、このうち文化遺産660件・自然遺産166件・複合遺産25件と文化遺産が8割近くを占めている。日本では14件(文化遺産11件・自然遺産3件)が登録され、8件が暫定登録となり、さらに各自治体から33件の候補の提案書が提出されている。

埼玉古墳群については、埼玉県と行田市の共同提案で「埼玉古墳群 - 古代東アジア古墳文化の終着点 - 」のテーマで33件の中の1件として、暫定登録 世界遺産登録を目指している。